

藤岡啓介の翻訳玉手箱 第3篇
公開講座 プロになるぞ！！ 第10回
コメント一覧

嘆いていました

いつも知識が足りないと自覚しているのですが、そんなにすぐに身につくとも思えません。たとえば、「腕時計は存在していましたが普及はしていなかった」などとも勉強になり、面白く感じられたのですが、このようなことはどのようにして調べたらいいのでしょうか？

情景

『ミスター・リズモアと未亡人』。

網野善彦

講談社学術文庫。ちょうどこのシリーズが書籍で刊行されたとき、不運にも遺跡捏造事件がありました。買うのを控えて、つい忘れていたのですが、それが全面的に改訂を施して文庫で蘇った。読むべし。

“The Alchemist’s Kitchen”

去年の夏に翻訳、創元社から出版の予定。「洋書の森」で発見したシリーズの1冊です。

『チャールズ・ラム伝』

講談社文芸文庫には翻訳者の基礎教養になる書物が多く入っている。何冊読んだかによって、その翻訳者の人柄まで推察できそうだな。

ぜひとも座右に

新書版で全4巻、各巻600頁余の大作です。

上田万年

国語学者、言語学者。露伴、紅葉、漱石と同時代人。ぼくの大好きな漢和辞典『大字典』（啓成社）の編者でもあります（講談社 新大字典 [特装版] で入手できます）。なぜか、円地文子さんの父君であることを知っていました。そうそう、円地さんの本で「訖」という文字を学びました。馬琴はこれを「おわんぬ」と読ませています。

福岡伸一

分子生物学

上田泰巳

システム生物学

あだしごとはさておきつ

「徒事（あだごと）」で、「くだらない、つまらないこと」の意味です。

wheeled to
辞書にある訳語では面白くない。

his sad and silent daughter.
単語を追うだけでは小説にならない。

a ghostly solemnity
こども難しい。

his brother
兄かな、弟かな、それとも？

waiting (the good and evil qualities alike) for time and circumstances to bring them to their full growth. waitingの主語が分かるようにこの分詞構文をきちんと訳せるといいのだけど。

without
どうしよう？

the family circle
これも辞書の言葉でいいかな？

the upper part
日本語では、顔をこうして上下に分割する習慣がないですね。困る。

a pair of
どう訳したらいいのだろう？

A perfectly sane person in all his sayings and doings, so far as I could see, there was still something in those wild brown eyes which suggested to me that, under exceptionally trying circumstances, he might surprise his oldest friends by acting in some exceptionally violent or foolish way. "A little cracked"--that in the popular phrase was my impression of the stranger who now made his appearance in the supper-room.
この文章を読みやすく、よどみない文章で訳せれば「合格」ですね。

【この提案を真剣に考える】

推薦しないときも、その旨お伝えします。手をつけている作品がありますか？ 新刊の版權フリー一本だけが市場ではありませんよ。編集部宛てに「自己紹介」と翻訳する作者(作品)を教えてください。手順を案内します。